
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

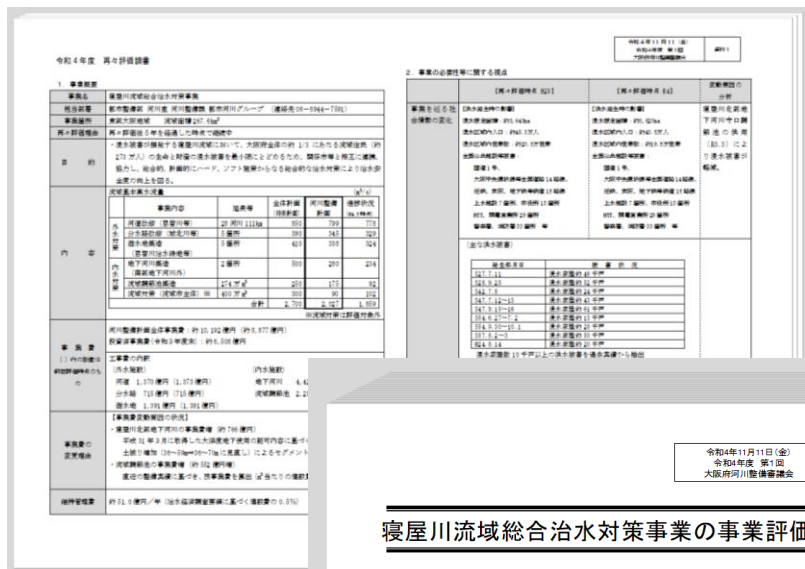
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

意見募集期間

令和4年11月25日(金)から令和4年12月26日(月)まで

縦覧図書

- 第1回 河川整備審議会資料(R4.11.11)
 - ・寝屋川流域総合治水対策事業の再々評価調書
 - ・寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について



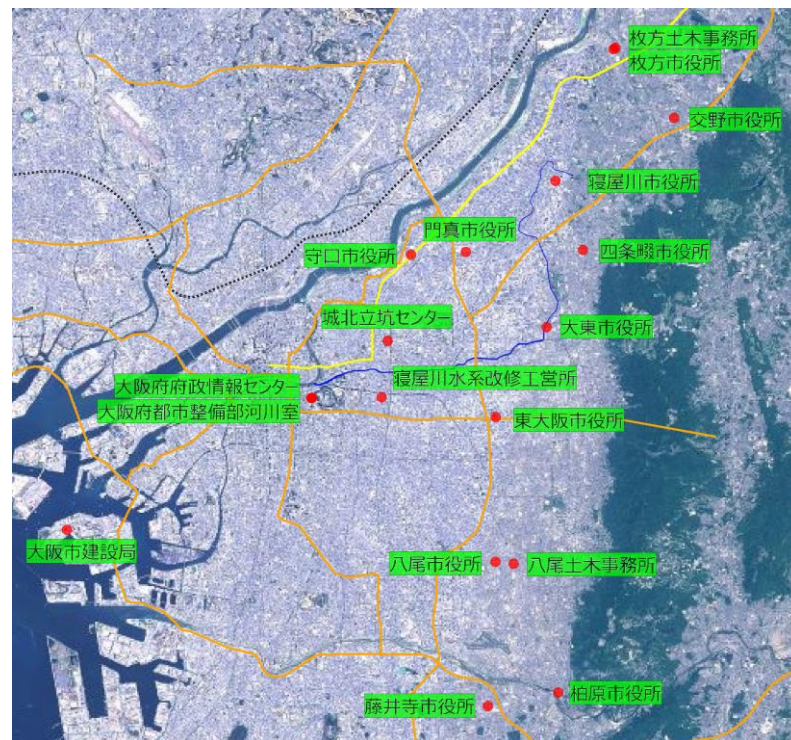
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について

◎ 今回の事業評価について

1. 事業概要
2. 事業の必要性等に関する視点
3. 事業進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 特記事項
6. 対応方針(原案)

縦覧場所

- 以下の18箇所
 - ・大阪府府政情報センター、大阪府都市整備部河川室
 - ・寝屋川水系改修工営所、八尾土木事務所、枚方土木事務所
 - ・城北立坑築造工事インフォメーションセンター
 - ・大阪市建設局、守口市役所、枚方市役所、八尾市役所、寝屋川市役所、大東市役所、柏原市役所、門真市役所、藤井寺市役所、東大阪市役所、四條畷市役所、交野市役所



寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

ホームページ掲載及び縦覧状況

(大阪府河川室)

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

対象事業名

寝屋川流域総合治水対策事業について

1. 募集対象項目

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価

[寝屋川流域総合治水対策事業の再々評価調査 \[Wordファイル/54KB\]](#)

[寝屋川流域総合治水対策事業の再々評価調査 \[PDFファイル/419KB\]](#)

[寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について \[その他のファイル/34.57MB\]](#)

[寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について \[PDFファイル/10.72MB\]](#)

2. 募集期間

令和4年11月25日金曜日 9時00分 から 令和4年12月26日木曜日 24時00分 (※郵送の場合は消印有効)

3. 閲覧方法

(1) 大阪府都市整備部河川室のホームページに令和4年11月25日金曜日より掲載します。

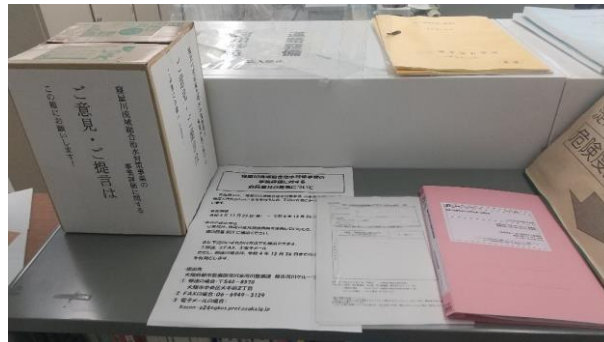
(2) 以下の場所で資料を備え付けています。
ただし、閲覧時間は、土曜・日曜・祝日を除く午前9時から午後5時15分まで。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、できるだけこちらのウェブサイトから閲覧いただきますよう、ご協力よろしくお願いたします。

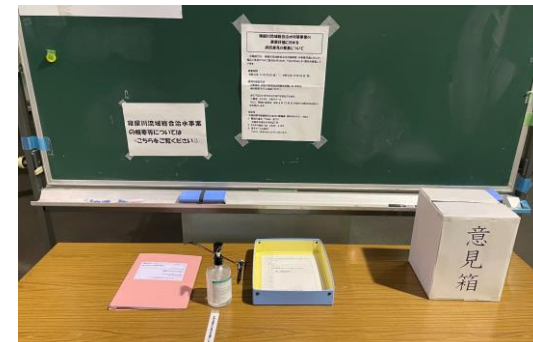
<閲覧場所一覧>

閲覧場所	所在地
大阪府府政情報センター (大阪府庁本館1階)	大阪市中央区大手前2丁目
大阪府都市整備部河川室 (大阪府庁別館4階)	大阪市中央区大手前2丁目
枚方土木事務所	枚方市大垣内町2丁目15-1
八尾土木事務所	八尾市荘内町2丁目1-36
寝屋川水系改修工営所	大阪府城東区東中浜4-6-35
大阪市 建設局 下水道部 調整課 (事業計画担当)	大阪市住之江区南港北2丁目1-10
守口市 環境下水道部 下水道課	守口市京阪本通2丁目5-5
枚方市 土木部 土木政策課	枚方市大垣内町2丁目9-21
八尾市 都市整備部 土木建設課	八尾市本町1丁目1-1
寝屋川市 上下水道局 下水道事業室	寝屋川市本町15-1
大東市 都市整備部 都市整備室 水政課	大東市谷川1丁目1-1
柏原市 都市デザイン部 都市管理課	柏原市安堂町1-55
門真市 まちづくり部 道路公園課	門真市中町1-1
藤井寺市 都市整備部 下水道工務課	藤井寺市岡1丁目1-1
東大阪市 土木部 河川課	東大阪市荒本北1丁目1-1
四條畷市 都市整備部 下水道河川課	四條畷市中野本町1-1
交野市 都市整備部 道路河川課	交野市私部1丁目1-1
寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事 インフォメーションセンター	大阪府城東区関目2丁目17

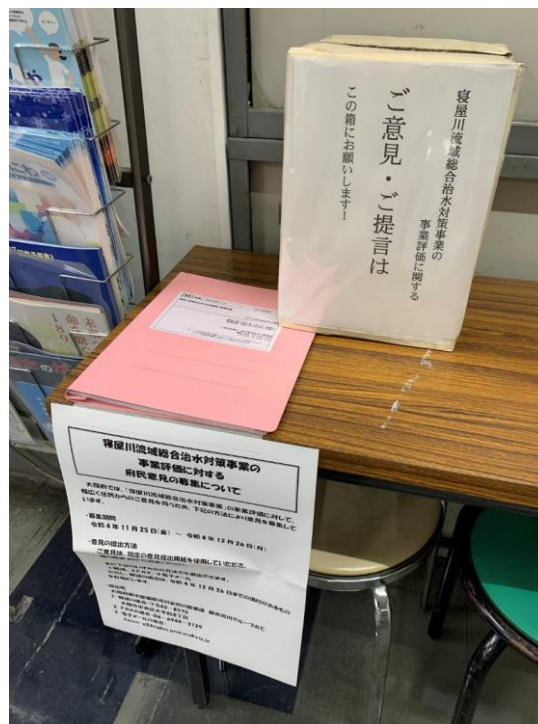
(八尾土木事務所)



(枚方土木事務所)



(大阪府河川室)



(寝屋川水系改修工営所)



寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

ホームページ掲載及び縦覧状況

(四條畷市)

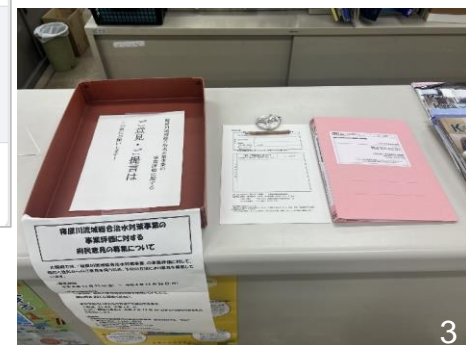
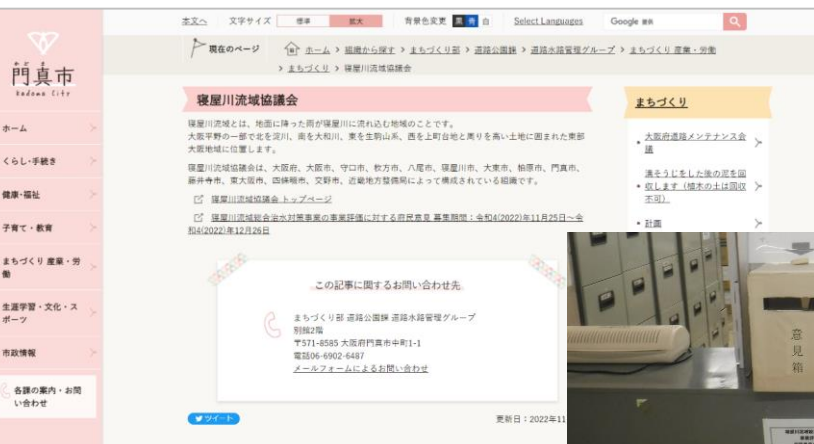
※他の流域市においても下記と同様の対応を実施

(枚方市)



(門真市)

(柏原市)



寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

ホームページ掲載及び縦覧状況

府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、「寝屋川流域協議会Twitter」、イベント等においても意見募集の案内を広報。

「寝屋川流域協議会Twitter」からの意見募集の広報



寝屋川流域協議会 @neyakyogikaiPR · 12月8日
大阪府河川整備課です。

大阪府では、寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価を行っており、府民の皆様のご意見を募集しています。
意見の募集は12月26日までです。

詳細の内容については、こちら
pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...

#寝屋川流域協議会 #流域治水 #意見募集

現在進捗中の工事

北部地下河川(城北立坑):大阪市



法善寺多目的遊水地:柏原市



布殿公園調節池:東大阪市



一級河川 忍智川 河川改修:八尾市



イベント会場における意見募集の広報



ひがしおおさか体感まち博2022(R4.11.18 地下河川立坑見学会)

府民意見募集結果の概要

いただいたご意見の総数は、26通

項目	件数
1. 治水対策	14件 (うち3件 公表を希望せず)
2. 河川環境	8件 (うち1件 公表を希望せず)
3. 防災情報	2件 (うち1件 公表を希望せず)
4. その他	8件 (うち2件 公表を希望せず)
【合計】	<u>32件</u>

※ 意見書に複数意見が書かれたものをそれぞれ1件として算定

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの

※ 下線部 = ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出
※ うち3件のご意見については公表を望まないとの意向のため掲載しない

いただいたご意見
(14件)

- ① 市街地の治水、河川対策のお話をうかがいました。私の自宅も以前台風の際床下浸水をし、こわい思いをしました。河川整備、地下流水路の整備など普段目には見えないところですが大切なことと思います。同時に公園や遊歩道などひとが集まり、河川について学べる場所がたくさんふえるといいと思います。
- ② 現在、進められている地下河川等の整備を行うハード面、啓発活動や地域活動を行うソフト面の両面での治水対策については引き続き進めて頂きたいです。
- ③ 治水対策を続けて欲しい。
- ④ 平成24年に寝屋川で冠水を経験しましたが、以降同じような大雨や大風の際には再発することがなく、治水対策事業の進行効果を実感しています。
- ⑤ 災害はいつやってきてもおかしくはない。安全、安心のある生活環境を維持していくためにも必要。
- ⑥ 寝屋川流域総合対策事業については、流域内の浸水被害を最小限に抑えるこれまでの行政における努力は高い評価を致すところではありますが、大東市民としてはただ1点、最終手段とも言えるポンプ運転調整については、非常に困惑している次第でございます。ポンプ運転調整は、大雨時に大阪市の被害を最小限にするために内水浸水を大阪市より上流側に生ぜしめる事になり、すなわち大阪市のために大東市が犠牲になると言わんばかりであると感じております。

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの

※ 下線部 = ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出
※ うち3件のご意見については公表を望まないとの意向のため掲載しない

いただいたご意見
(14件)

- ⑦ これまでの治水対策によって被害が軽減しているとのデータもありますが、今後は想定を超える雨が降る可能性もある事から更なる治水対策が必要かと思います。
- ⑧ 過去の水害実績や雨量などの根拠を徹底してそろえてもらい、何十年、何百年と先を見据えた治水対策事業であってほしい。
- ⑨ 「2. 事業の必要性等に関する視点」の事業を巡る社会情勢等の変化として、気候変動の影響により今後、降雨量や洪水発生頻度の増加が見込まれることが記載されております。国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）報告書では、2100年までに平均気温が2度上昇した場合、大阪湾の海面水位が最大62cm上昇すると想定されていることから、それに伴う湾岸対策および河川対策への影響とそれらに対する今後の取組についても、気候変動への影響を考慮すべきではないかと考えておりますので、ご検討をお願いします。
- ⑩ 目標達成は勿論ですが、資材価格の高騰や施設の老朽化の問題もありますので、より効果的な対策事業が行われますようお願いします。特にポンプ場の老朽化対策については修繕費、更新費に多額の費用がかかることから、補助金等のメニューを含めて整理して頂きますようお願いします。
- ⑪ 事業の必要性については理解できる。できるだけ早期に目標を達成できるように努めていただきたい。

1. 治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答(案)

意見①～⑤ 治水対策の継続

- 寝屋川流域はその大部分が、地盤が河川水面より低い低平地であり、治水上、脆弱な地域です。
- 大阪府では、平成22年に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、「人命を守ることを最優先とする」ことを基本理念に、今後20～30年程度でめざすべき当面の目標を河川毎に設定しています。
- 寝屋川流域では当面の治水目標（令和26年度まで）を、時間雨量50mm程度の降雨（10年に1度程度の確率規模の降雨）に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨（30年に1度程度の確率規模の降雨）に対して床上浸水を防ぐこととし、総合的な治水対策を進めています。
- 治水施設の整備水準を超える洪水に対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実に進めつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策を効率的、効果的に組み合わせて流域全体で治水対策に取り組んでいきます。
- なお、災害時に府民一人ひとりが適切な避難行動をとっていただくよう、河川防災情報として、河川の水位や河川カメラによるリアルタイムの画像、大雨時の避難に関する情報を発信するなど、ソフト対策の充実も図り、「逃げる」施策を推進しています。

意見⑥ ポンプ運転調整について

- 低平地である寝屋川流域では、その4分の3が下水道のポンプを介してしか、雨水を河川へ排水できない内水域となっており、ポンプ運転調整は、河川の整備水準を上回る豪雨に見舞われ、河川からの越水及び破堤等による氾濫の恐れがある時、外水氾濫による沿川の甚大な浸水被害の発生を回避することを目的として、流域12市とともに策定した特定都市下水道のポンプ施設に関する運転操作のルールです。
- 各河川で基準点と基準水位を設定し、調整を行うポンプ施設を定めています。
- 河川堤防の破堤による甚大な被害を回避し、被害の最小化を図るためのものであり、特定の市の被害を軽減するものではありません。

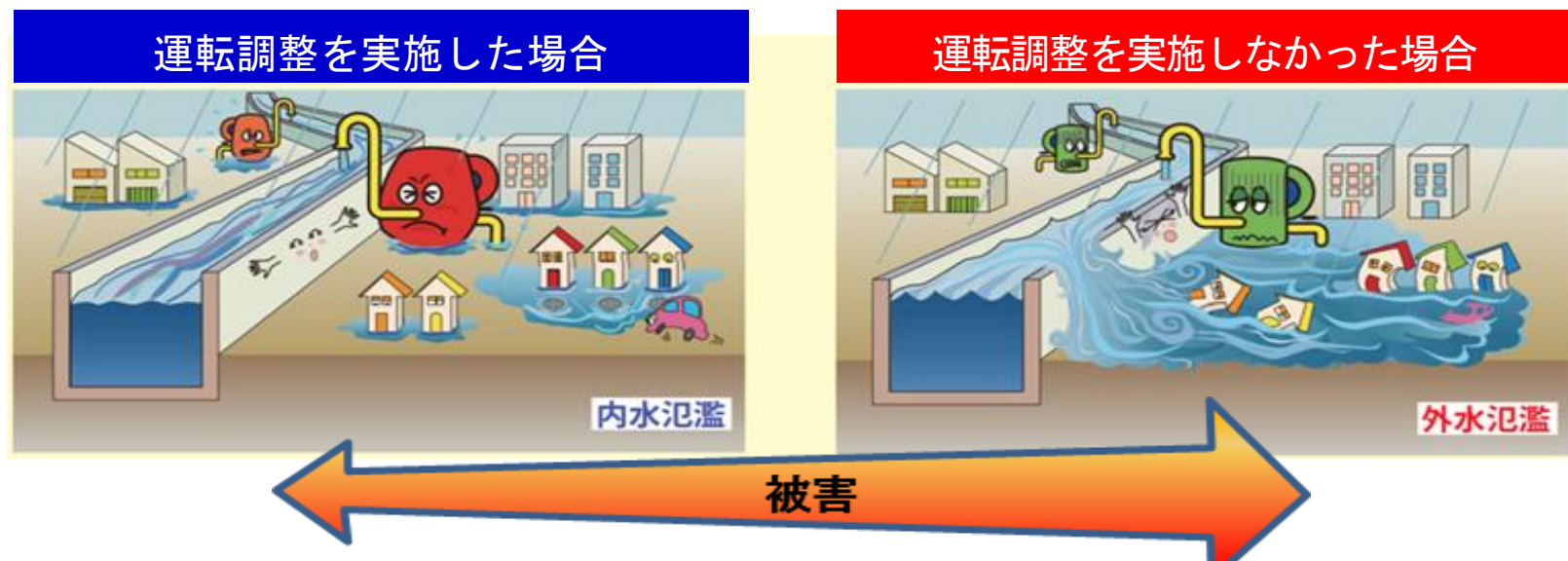
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

ポンプ運転調整ルールへの運用

- 流域12市と大阪府で策定した寝屋川流域水害対策計画で定める(平成26年)。
- 大雨時に下水道ポンプ場からの放流を制限し、河川水位の上昇を抑えることで、堤防の決壊を防ぎ、壊滅的な被害を避けるための最終的な手段として、やむを得ず実施するもの。



内水氾濫被害の形態

- ・ 地形的に低いところで浸水発生
- ・ 浸水箇所は広範囲に点在
- ・ 浸水深は小 ⇒ **被害小**
- ・ 氾濫流の流速が小 ⇒ **人命への危険小**

外水氾濫被害の形態

- ・ 破堤地点の近傍で浸水発生
- ・ 被害は局所的
- ・ 浸水深は大 ⇒ **被害大**
- ・ 氾濫流の流速が大 ⇒ **人命への危険大**

1. 治水対策に関するもの

いただいた意見に対する回答(案)

意見⑦～⑨ 想定を超える規模の降雨に対する対策

- 治水施設の整備水準を超える洪水に対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実に進めつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策を効率的、効果的に組み合わせて流域全体で治水対策に取り組んでいきます。
- なお、災害時に府民一人ひとりが適切な避難行動をとっていただくよう、河川防災情報として、河川の水位や河川カメラによるリアルタイムの画像、大雨時の避難に関する情報を発信するなど、ソフト対策の充実も図り、「逃げる」施策を推進しています。
- 地球温暖化に伴う気候変動の影響等による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、国から「流域治水」の考え方が打ち出されました。寝屋川流域では昭和63年から流域の関係者とともに「流域治水」の先駆けとなる総合治水対策に取り組んでいます。令和4年3月には、「流域治水プロジェクト」を策定し、対策の内容の充実・強化やフォローアップを実施しながら、計画的に流域治水を推進していきます。
- また、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進めていきます。

意見⑩、⑪ 事業費の確保と早期の目標達成

- 寝屋川流域での治水対策については、多大な事業費を要することから、設計、施工のそれぞれの段階でコスト削減を図り、効果的、効率的な整備を進めるとともに、維持管理費についてもライフサイクルコストの平準化と抑制に努めていきます。
- また、必要な事業費の確保に取り組んでいきます。

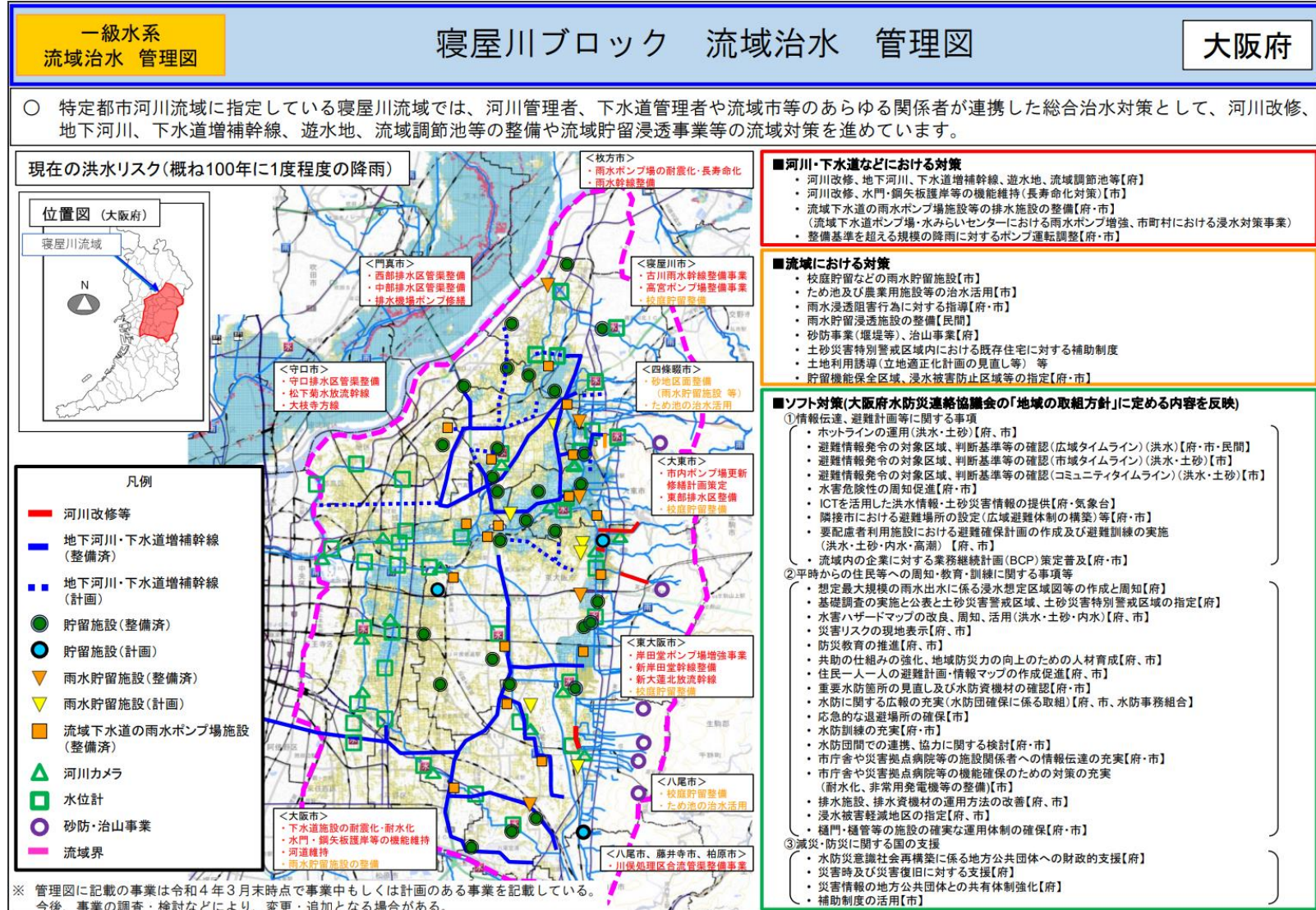
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの

流域治水プロジェクト

➤ 寝屋川流域協議会で流域治水プロジェクトを策定し、進捗管理や情報共有を毎年行い、対策内容の充実・強化やフォローアップを実施しながら、計画的に流域治水を推進していく。

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋



寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

2. 河川環境に関するもの

※ 下線部 = ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出
※ うち1件のご意見については公表を望まないとの意向のため掲載しない

いただいた意見（8件）

- ① 川の清掃、水が汚い。
- ② 昔にくらべて、水は、きれいになってますが今日見た河川はまだごみが、ずいぶんありました。水の流れが少ない様です。
- ③ 河の水がきれいになり、その水の側まで、おりていけるといいなあと思っています。毎日池島から、長瀬の方まで通っています。鳥も多く見られ良い河だと思えますが、その河が市民のいこいの場になればよいと思っています。治水は、たいへんな仕事だと思えますが、命を守るために大切な仕事だと思えます。
- ④ 治水工事を進める事については賛成です。上部の有効利用も同時に進めて、環境対策にも成ると思えます。河川については兵庫県の河川の整備及び地域住民の散策に資するきれいな川造りが成されている。大阪府も、出来るだけ、有意義な川沿いの整備に努めて、有効利用、いこいの場所造りをしていただきたいと常に思っています。
- ⑤ 市街地の治水、河川対策のお話をうかがいました。私の自宅も以前台風の際床下浸水をし、こわい思いをしました。河川整備、地下流水路の整備など普段目には見えないところですが大切なことと思えます。同時に公園や遊歩道などひとが集まり、河川について学べる場所がたくさんふえるといいと思えます。
- ⑥ 河川の臭いのあるところもあるので、なくなるといいかなと思えます。
- ⑦ 鯉は外来種だと思えます。アカミミガメと同様放流しないでください。

2. 河川環境に関するもの

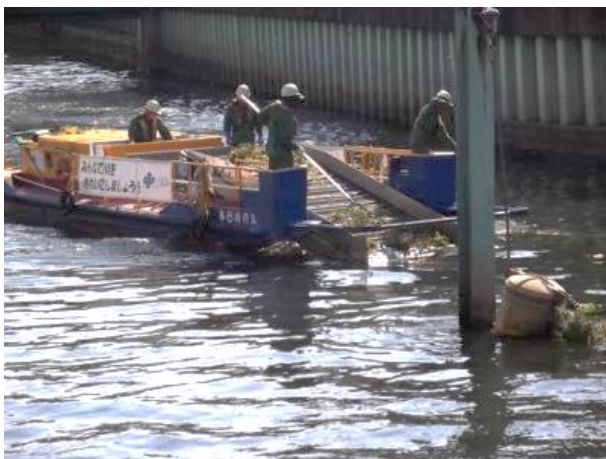
いただいたご意見に対する
回答(案)

意見①、② 河川清掃について

- ▶ 河川管理者である大阪府では、河川の浮遊ごみについて、主に下流域において清掃船を用いた水面清掃を定期的実施しています。清掃船では回収出来ない投棄物などは職員が回収作業を実施しています。
- ▶ 一方で、河川の浮遊ごみは、河川域に流入するごみの削減が必要不可欠であるため、住民一人一人の美化意識の向上を図ることが重要であると考えています。
- ▶ 大阪府及び寝屋川流域12市で構成する寝屋川流域協議会においては、HPやSNS、啓発看板を用いた情報発信や、流域における清掃イベントの開催により流域住民の美化意識の醸成を図っています。
- ▶ また大阪府では住民が身近な河川に愛着を持ち、自主的に清掃等の美化活動を行うことを支援する、「アドプト・リバー・プログラム」を展開しています。これらの活動を今後も継続し、流域住民、流域市とともに河川の浮遊ごみの削減に努めていきます。

河川管理者による 河川清掃実施状況

- ▶ 船が航行できる下流域では、清掃船を用いた水面清掃を定期的実施しています。
- ▶ 清掃船では回収できない投棄物などのごみは、職員が回収作業を実施しています。



清掃船による
水面清掃



職員による
清掃活動

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

2. 河川環境に関するもの

「アドプト・リバー・プログラム」実施状況

- ▶ 地域住民が中心となった「アドプト・リバー・プログラム」を実施(登録団体数 40団体(R4.4時点))
- ▶ 寝屋川流域で、様々な主体(地域住民、団体等)との連携・協力により、美化活動を実施

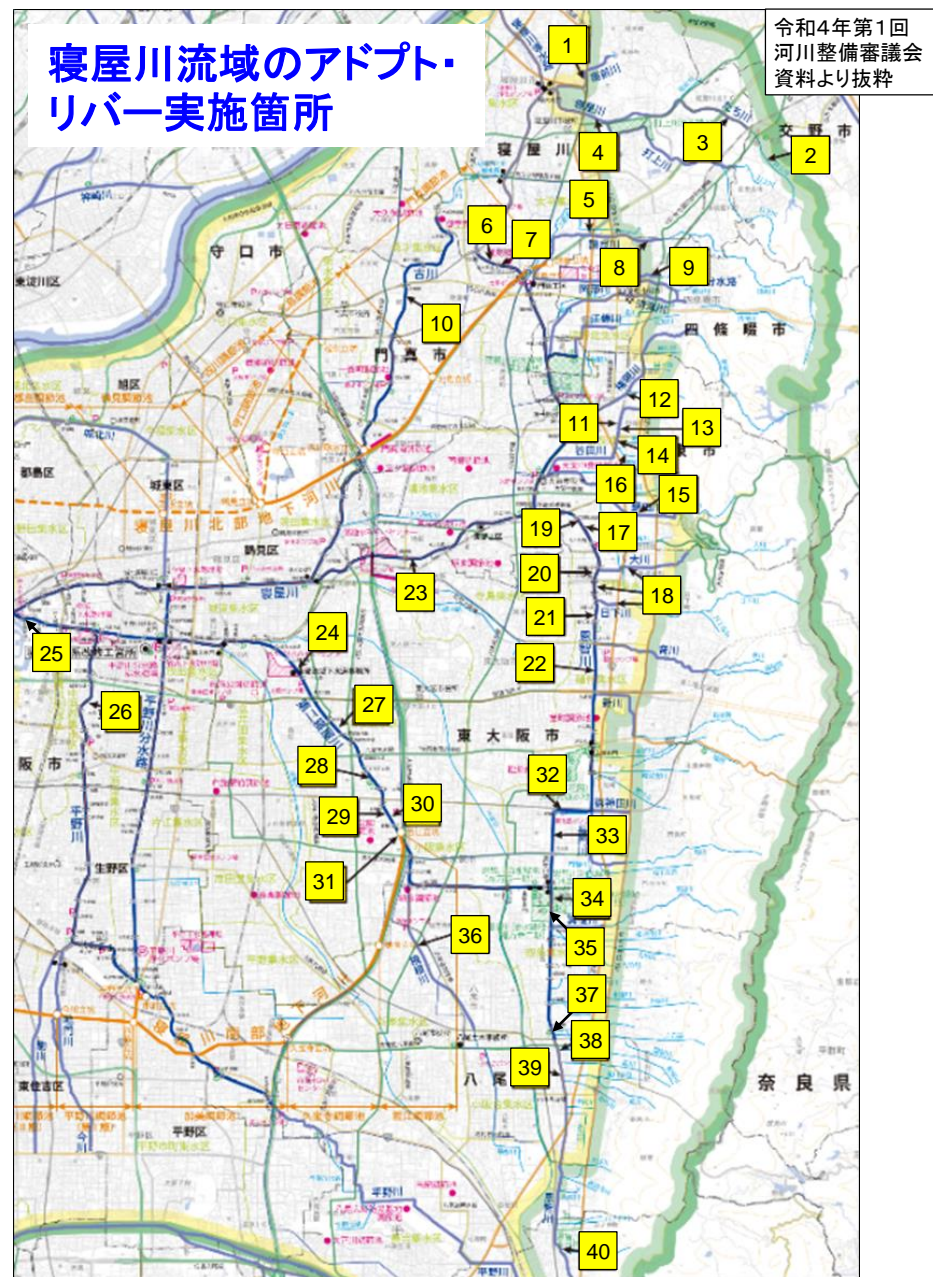


アドプト・リバー・プログラムにおける活動の様子

※アドプト・リバー・プログラム

地元自治会や企業、市民グループ、学校などに河川の一定区間の清掃や美化活動などを継続的に実施していただき、河川愛護に対する啓発や、河川美化による地域環境の改善、不法破棄の防止などに役立てることをねらいとした取り組み。

寝屋川流域のアドプト・リバー実施箇所



出典：寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）

2. 河川環境に関するもの

いただいたご意見に
対する回答(案)

意見③、④、⑤ 水辺空間の整備について

- ▶ 寝屋川流域では、地域住民と連携してこれまでに寝屋川沿いに川や生き物と触れ合うことのできる「幸町公園」や「川勝水辺ひろば」などの親水空間や、市街地に残された貴重な水辺である「御領せせらぎ水路」や「成法せせらぎの小径」などの水路を地域住民の憩いの場として整備するなど、種々の水辺空間を整備してきました。
- ▶ 今後はこれらの水辺空間の更なる活用のため、令和4年度末に「水辺空間マップ」を作成し、ホームページでの公表やイベント等での配付、また寝屋川流域内の水辺空間を面的に活用したイベントなどを通じて、水辺空間の魅力の情報発信や学習の場の提供を行っていきます。

水辺空間の整備

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋



花園多目的遊水地



寝屋川せせらぎ公園



鴻池水路（東大阪市）

2. 河川環境に関するもの

いただいたご意見に対する回答(案)

意見⑥ 河川の水質について

- 寝屋川流域の主な河川の水質は、昭和50年以前は劣悪でしたが、昭和50年以降は下水道整備の進展や事業者排水対策の推進などの取組みを進め、河川水質の代表的な指標であるBODについては、平成27年以降すべての基準点で環境基準を達成するなど改善傾向にあります。
- 一方で主に平野川等では降雨後に浮遊汚泥（スカム）が発生し、悪臭が発生するなどの問題があることから、底泥の浚渫などの発生抑制対策や、河川カメラによるスカム発生の監視などの対策を進め、環境部局や関係市とも連携して良好な水環境の確保に努めていきます。

意見⑦ 外来生物対策について

- コイの放流については、コイヘルペスウイルス病のまん延防止の観点から制限しています。
- 外来生物に関しては「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、特定外来生物の放出が禁止されています。
- 大阪府においても、環境部局において外来生物に係るリーフレットによる啓発をおこなうなど、外来生物拡大の防止に係る取組を進めています。

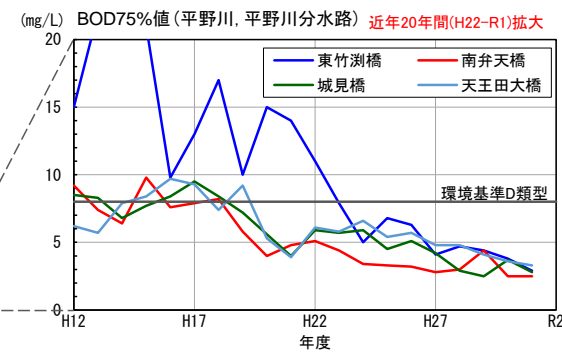
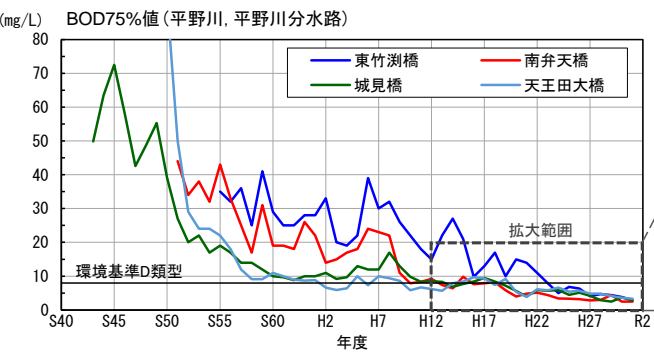
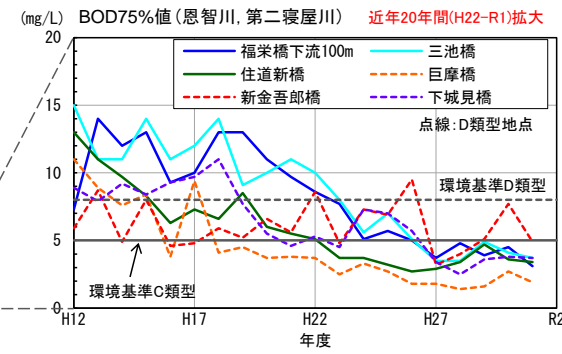
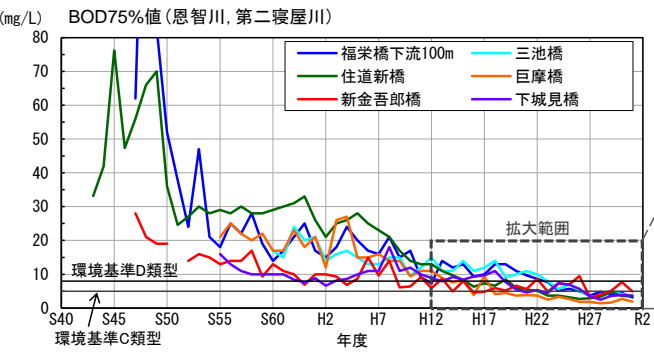
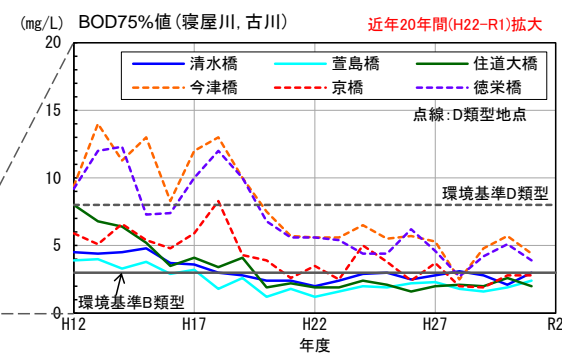
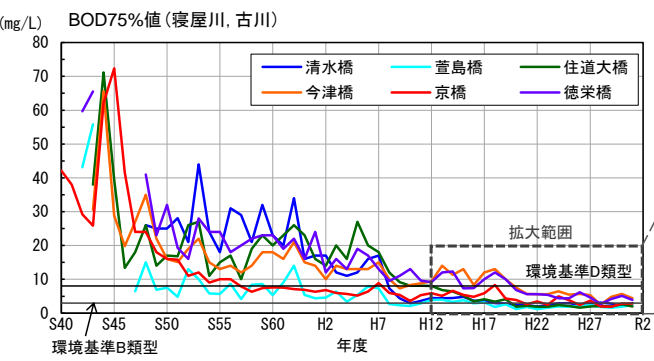
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

2. 河川環境に関するもの

河川水質の状況

➤ BODについて、平成27年以降はすべての環境基準点及び準基準点で環境基準を達成している。

令和4年第1回河川整備審議会資料より抜粋



浮遊汚泥(スカム)について



スカムの発生状況 (平野川)



底泥の浚渫

3. 防災情報に関するもの

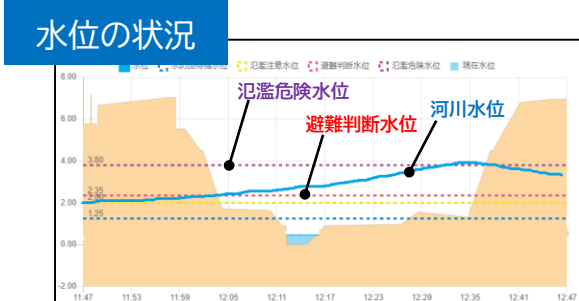
※ 下線部 = ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出
 ※ うち1件のご意見については公表を望まないとの意向のため掲載しない

(2件) いただいたご意見
 ① 近ごろ、おもわない大雨などが多く私達の住んでいるところでも豪雨情報が多く携帯に来ます。これはありがたいと思います。

いただいたご意見に対する回答(案)
意見① 河川防災情報の発信
 ▶ 大阪府では府民自らの防災行動に広く活用していただくために、洪水リスク表示図や、河川の水位情報、カメラ画像などをホームページで公開することやスマートフォン専用ページを設けるなど、わかりやすい河川防災情報の提供に取り組んでいます。
 ▶ また、NHKのデータ放送では、河川の水位情報を見ることができます。ホームページとあわせ、積極的なご利用をお願いします。
 ※ 大阪府河川防災情報ホームページ
<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>

「大阪府 河川防災情報」のホームページをリニューアルしました

河川防災情報を提供するホームページを、令和4年12月1日にリニューアルしました。
 ホームページでは、河川の水位、大雨時の避難に関する情報や、防潮鉄扉、水門の閉鎖状況などが、分かりやすく一目で確認できます。



寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

4. その他

※ 下線部 = ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出
※ うち2件のご意見については公表を望まないとの意向のため掲載しない

いただいた意見
(8件)

- ① 見学会実施の機会を増やして欲しい。
- ② 公共工事等の伝達が府民にはとどきにくく思います TV（ケーブルテレビ等すでにあるけれど）等の伝達方法を使って広めて下さい。 大阪府のホームページもみているが、ちょっと、見にくい。この面にもお金を使えば。
- ③ 事業計画のアピール何をやっているか宣伝して欲しい。 わからないところが多いと思う。
- ④ TVでは観たが、実際に入って見る事が出来その大きさにビックリした。案内の方の説明もしっかりしておられ、良くわかりました。 家庭でも出来る水対策をおしえていただきさっそく実践しようと思いました。
- ⑤ 事業費の変更がされているのに問題視してない（評価結果について）。
- ⑥ 「生命、財産の被害を最小限にとどめる」（目的）とか、「治水対策」（名前）と書かれているが、 河川区域のはんい内容について議論されていないし、明記されていないので明記してほしい。
※ 全体として事業評価の内容は事業の評価というより事業を報告しているような内容で評価になってないと思います。

4. その他

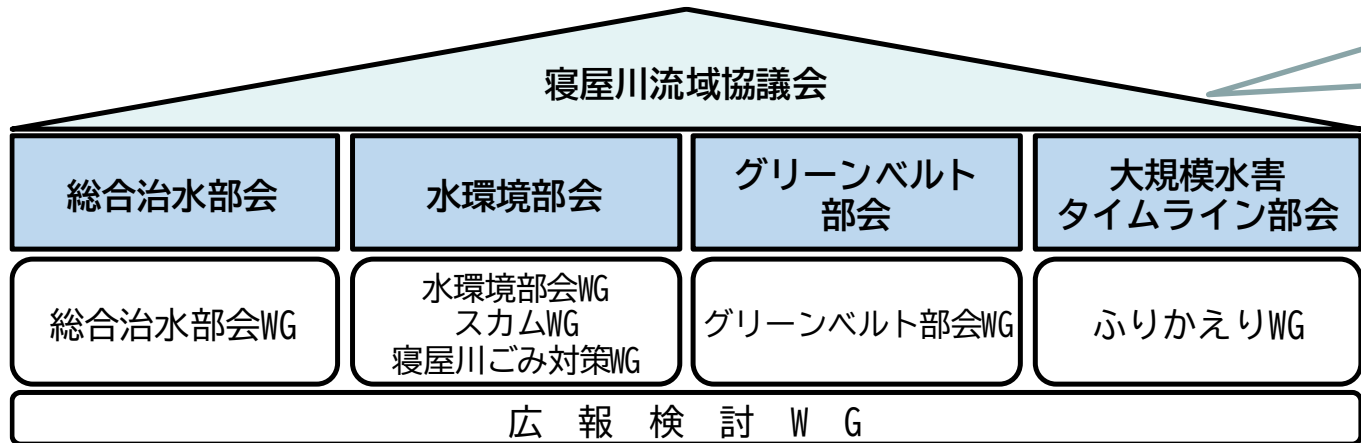
(案) いただいた意見に対する回答	<p>意見① 施設見学会の開催回数について</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 施設見学会は、治水施設の必要性や整備状況といったハード対策や、いざという時の避難行動につながるソフト対策について周知、理解を求める場であることから、今後も流域市とも連携し、様々な機会を捉えて開催していきます。
	<p>意見②～④ 広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 寝屋川流域では、治水施設の必要性や水環境の改善に向けた啓発等について、住民の方に理解・協力をいただくため、施設見学会等のイベントの開催や、ホームページやSNSを活用した情報発信を行っています。➤ 今後も、流域市と連携しながら広報活動の拡充を図っていきます。 <p>※ 寝屋川流域協議会ホームページ https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/neya_ryuikikyogikai/index.html</p>

4. その他

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

寝屋川流域協議会

- ▶ 寝屋川流域では、昭和60年から流域の関係者とともに総合治水対策に取り組んでおり、「流域治水」の考え方を全国に先駆けて実践してきた。
- ▶ 寝屋川流域の都市化の進展に伴う治水環境、水環境の悪化に対し、適切な治水対策、水環境改善施策及び森林保全施策を推進し、水害・土砂災害の防止及び被害の軽減を図るとともに良好な水環境の創造を図り、もって流域の環境改善に資することを目的として活動を行っている。
- ▶ 令和4年3月に「寝屋川ブロック流域治水プロジェクト」を策定。



【構成員】
大阪市・守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・大東市・柏原市・門真市・藤井寺市・東大阪市・四條畷市・交野市・大阪府・淀川河川事務所

■寝屋川流域協議会の主な活動

- ・ 「流域治水プロジェクト」の推進
- ・ 国への予算要望活動
- ・ 広報活動
- ・ 水環境改善に向けた取組み
- ・ 土砂災害防止や森林保全の取組み
- ・ タイムラインの運用



国への予算要望活動



広報活動(施設見学会: 松原南調節池)

4. その他

いただいた意見に
対する回答(案)

意見⑤ 事業費の変更に対する評価について

- 事業費の変更を考慮したうえで費用便益分析を行っており、その結果を審議会に諮ったうえで、事業継続の妥当性を判断します。
- なお、費用便益分析の結果、B/C※は8.1であり、1.0を上回っていることから、事業実施の妥当性を有する投資効果があると確認しています。
- 寝屋川流域での治水対策については、多大な事業費を要することから、設計、施工のそれぞれの段階でコスト縮減を図り、効果的、効率的な整備を進めるとともに、維持管理費についてもライフサイクルコストの平準化と抑制に努めていきます。

※B/C:費用便益比(Cost Benefit Ratio)。単位投資額あたりの便益の大きさにより事業の投資効率を示す指標です。事業実施による被害軽減効果の便益(B)と、事業に要する建設費などの費用(C)から算出します。

4. その他

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

事業費の変更

(億円)

		前回評価時点 (H29)	今回評価 (R4)	増減
全体事業費		8,877	10,192	1,315
工事費 内訳	河道	1,373	1,370	▲3
	分水路	715	715	0
	遊水地	1,391	1,391	0
	地下河川	3,660	4,426	766
	流域調節池	1,738	2,290	552

●投資済事業費(R3年末) 約6,508億円

●事業費の変更 約1,315億円増

【北部地下河川】 約766億円増

- ・計画土被り増加(36~59m⇒36~70mに見直し)によるセグメント厚見直し(305⇒500mm)に伴い、コンクリート量、鋼材重量が増加
- ・コンクリート単価の上昇(H25年:12,500円/m³ →R2年:20,000円/m³)

【流域調節池】 約552億円増

- ・直近の整備実績に基づき、残事業費を算出(m³当たりの建設費 187千円 →341千円)

(参考)北部地下河川 城北立坑築造工事における労務単価、資材単価
⇒労務単価:7.2%上昇、資材単価:38.0%上昇(R1→R4)

4. その他

いただいた意見に
対する回答(案)

意見⑥ 対象事業（治水事業の内容）・流域（範囲）について

- 寝屋川流域では、平成27年度に策定した「淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画」において、当面の治水目標（令和26年度まで）を達成するために必要な治水対策事業を定めています。
- 事業評価は、河川整備計画で定めた治水対策事業を対象に、事業継続の妥当性を判断し、より効率的な実施方法等を検討することを目的としています。

※ 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/yodokihonseibi.html>

寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価に対する府民意見募集について

4. その他

➤ 寝屋川流域では、当面の治水目標（令和26年度まで）を、時間雨量50mm程度の降雨（10年に1度程度の確率規模の降雨）に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨（30年に1度程度の確率規模の降雨）に対して床上浸水を防ぐこととしている。

令和4年第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

【淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画 事業一覧】

分類	河川名	工事実施箇所及び区間	事業内容	延長等	
寝屋川流域総合治水対策	外水対策	寝屋川	JR学研都市線及び大阪外環状鉄道 寝屋川橋梁部	河川改修	L=50.8m 【完成】
		平野川分水路	JR学研都市線及び大阪外環状鉄道 城東運河橋梁部	河川改修	L=20.2m 【完成】
		恩智川	三箇大橋	橋梁改築	1箇所 【完成】
			薬師橋下流～近鉄信貴線	河川改修、環境整備	L=1.2km（残延長 L=0.6km）
		大川	旧国道170号～上流端	河川改修	L=0.7km
		音川	旧国道170号～上流約0.4km	河川改修	L=0.4km
		城北川	西大宮橋、新森小路橋	橋梁改築	2箇所 【完成】
		日下川	中前橋～国道170号	調査・検討	L=0.2km
		讃良川	寝屋川合流点～上流約1.4km	調査・検討、河川改修	L=0.5km
		岡部川	讃良川合流点～四條畷市境	調査・検討、河川改修	L=0.3km
	恩智川	恩智川治水緑池（池島・福万寺）	遊水地	越流堤高切下げ	
		恩智川（法善寺）多目的遊水地	遊水地	貯留量7.4万m ³	
	内水対策	寝屋川北部地下河川	門真調節池	地下河川	L=2.9km、内径5.4m 【完成】
			守口調節池	地下河川	L=3.1km、内径5.1m～4.9m 【完成】
			鶴見調節池	地下河川	L=1.7km、内径9.0m
			都島調節池	地下河川	L=2.9km、内径11.5m
		寝屋川南部地下河川	排水機場	地下河川	85m ³ /s
			岸里調節池	地下河川	L=2.2km、内径9.8m
		流域調節池（約40.0万m ³ ）	排水機場	地下河川	120m ³ /s
			西郷通調節池	調節池	貯留量4.00万m ³ 【完成】
その他事業	環境整備	寝屋川	打上川治水緑地下流ほか	親水空間整備	L=0.3km
			古川合流点～戎大黒橋上流	底質汚泥除去	L=2.5km
	平野川	平野川橋～本郷橋	礫間浄化	L=0.5km	
		千歳橋下流～都橋	底質汚泥除去	L=2.0km	
	古川	古川大橋下流～三ツ島大橋	底質汚泥除去	L=2.0km	

対応方針(案)

事業の必要性等

- 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、B/Cは8.1であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。また、事業を巡る社会情勢等に大きな変化がないことや、下水道管理者や流域市と連携し総合的な治水対策を推進し、早期に治水効果の発現が望まれていることから、事業の必要性に変わりはない。
- まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。

事業の進捗の見込み

- 寝屋川ブロック河川整備計画(平成27年3月策定)及び大阪府都市整備中期計画(令和3年3月策定)に位置付けて事業を進めており、令和3年度末で事業の進捗率は91%(全体事業費に対しては63%)である。
- 平成30年7月の西日本豪雨や令和3年5月の集中豪雨では、いずれも平成7年の同規模の降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減されるなどの効果を発揮。河川整備計画の目標である、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)では浸水被害が発生し、地元からも事業の継続を望まれていることから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが必要である。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 設計、施工のそれぞれの段階でコスト縮減を図り、効果的、効率的な整備を進める。
- 今後、計画されているポンプ設備等の整備にあたっては、技術革新を踏まえコスト縮減に努める。
- 将来の維持管理費を見据えたライフサイクルコストの平準化と抑制を行っていく。



事業の継続